

リモート方式市長とのタウンミーティングで出された意見・要望(当日要旨)【令和2年12月12日開催】

NO	項目	内容	市長の考え
1	環境美化啓発(マスクの適切な処理)	マスクが道路などに捨てられている。適切に処理しましょうとの啓発をSNSも活用して積極的にして欲しい。	毎月5駅で清掃活動を行っているが、ポイ捨てが無くなる状況で、たばこに加え最近ではマスクが路上に落ちている。他自治体では、過料制度を設けているところもあり、検討していくとともに、更なる啓発も行っていきたい。
2	リモート会議の推進	リモート手法を積極的に取り入れて欲しい。	市の行う会議などで、リモートを推進していきたい。
3	コロナ禍における避難所運営訓練	今年は台風が来ず、避難所開設はなかったが、コロナ禍における避難所運営に不安がある。	避難所では、3密対策として間仕切りセット等を備蓄した。今年被災地の熊本県人吉市に職員派遣を行ったので、コロナ禍での経験を今後の避難所運営に活かしたい。
4	コロナ支援への財政負担	コロナウイルス対策として様々な支援を実施しているが、財政負担はどうなっているのか。	国の財源を活用しており、市が全額負担しているわけではない。財政健全化の指標である4つの指標なども確認しながら、市財政を運営しており、本市は健全な部類に入っている。今後も、しっかりとコントロールしながら財政運営をしていきたい。
5	シティプロモーション	和泉市の存在を広くPRする必要がまだまだあると思う。市民も一緒になって活動していくので、積極的なシティプロモーションを望む。	現在、久保惣記念美術館を中心としたミュージアムタウン構想を推進している。また、ハード面では和泉府中駅前の再開発事業、信太山駅改修に加え、和泉中央駅前改修や北信太駅前線の整備に着手し、旧市立病院の跡地に和泉消防署移設やホテル誘致なども控えている。市民が住み続けたいと思ってもらうことが重要。今後も魅力あるまちづくりを推進していくので、市民の皆さんも情報発信していただき、共にシティプロモーションを進めていきたい。
6	PCR検査	PCR検査の検体をどこに持っていったらいいか、また、検体容器はどこでもらえるかなどを積極的に広報して欲しい。	コロナに関する情報は広報紙やホームページ掲載、各種SNSで情報配信している。ご質問の内容についても、関係団体等と協議していきたい。
7	施設利用料の減額(定員の半分措置に伴い)	コロナウイルス対策として、市有施設の使用基準として定員を半分にしているが、利用料は同じとなっている。減額できないか。	施設を利用する人とならない人の負担の公平性を勘案し減額しないこととした。しかしながら、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化している状況を踏まえ、今後、他市町村の状況把握などに努めるよう、担当課に伝えておく。
8	リモート方式による医療講演会	総合医療センターの医療講演会がリモート方式に変わり大変助かっている。今後も、積極的に総合医療センターへのサポートをして欲しい。	これからも各方面において、総合医療センターと連携していきます。
9	ごみ収集作業員の安全対策	ごみの収集作業員の安全対策として、ヘルメット着用が出来ないか。	ごみ収集の安全対策について、検討するように担当に伝えておく。